

「復興・再生」を推進するための仕組みの見直しについて

～早期の復興・再生に向けて、科学技術に関連した仕組みの見直しで、できることは…～

～ 目 次 ～

- 1. 協議等の経緯と今後のスケジュール 1
- 2. 「被災地の早期復興」や「全国や世界へ発信できる優れた技術開発と実装」の
「課題解決を阻害している要因」 2
- 3. ヒアリング先で伺った話題一 3
- 4. 各県の復興計画の進捗検証などから見た復旧・復興の課題 4
- 5. 早期の復興・再生に向けて、
科学技術に関連したどのような「仕組みの見直し」が有効か？ 5
- 6. 参考資料 6

1. 協議等の経緯と今後のスケジュール

◎ 経緯とスケジュール

総合科学技術会議(7月30日)：「システム改革等イノベーション実現に必要な施策のあり方について、年末までに対応方針をとりまとめ」るよう総理より指示。

第4回協議会(9月11日)：「復興再生を推進するための科学技術イノベーション実現に向けた取組テーマ(システム上の課題)についての意見交換」

第5回協議会(10月1日)：「イノベーション実現に向けた取組テーマ(システム上の課題)について」

その後 ⇒ 第4回、第5回に頂戴した意見を 資料6-1-3(要約をP2に添付)にまとめ。

一部委員及び委員関係者等のヒアリングにより、具体的な取組事例を伺い(p3)、一部を資料6-1-2にまとめ。

「被災地の早期復興」に焦点を当て、見直し方針の候補例を抽出。

第6回協議会(11月8日)： 早期の復興・再生に向けて取り組む科学技術関連の仕組みの見直し(骨格議論)

その後 ⇒ 見直しテーマについての追加ヒアリング、委員照会等

第7回協議会(12月14日)：「早期の復興・再生に向けた仕組みの見直しについての対応方針」まとめ

第9回 科学技術イノベーション政策推進専門調査会(12月20日)

「イノベーション実現に必要な施策のあり方についての対応方針」について、骨太のモノをとりまとめ。⇒ 総理へ報告(12月末)

第5回協議会にお示した対応方針とりまとめイメージ

資料5-2-4

3. 「被災地の早期復興」や、「全国や世界へ発信できる優れた技術開発と実装」に向けた仕組み見直しの対応方針

(1) 東日本大震災からの復興・再生を速げ、地域住民の安全で豊かな暮らしが実現できる社会

A. 政策課題	B. 「目指すべき社会の姿」(中期の方向性)「解決すべき課題」 東日本大震災からの復興・再生を速げ、 地域住民の安全で豊かな暮らしの実現できる社会 ～被災地の早期復興～	C. 課題解決を進めていると思われる仕組み	D. 仕組み見直しの対応方針
① 命・健康も、災害から守る			
② 仕事を、災害から守り、新たに創る	① 雇用の回復や求人手続のスピード解決が進まない。 ② 働き場の確保作業が進んでいない。	○○○○○ →	○○○○○
③ 居住地域を、災害から守り、新たに創る	① 新たな居住空間の実現が遅れている。 ② 住まい、働き場の確保作業が進んでいない。		
④ 命・健康、エネルギーの確保も、災害後も確保し、創る			

(2) 東北地方の災害からの復興・再生モデルとして、より安全、かつ豊かで質の高い国民生活を實現できる強靱な社会

A. 政策課題	B. 「目指すべき社会の姿」(中期の方向性)「解決すべき課題」 東北地方の災害からの復興・再生モデルとして、 より安全、かつ豊かで質の高い国民生活を實現できる強靱な社会 ～全国や世界への発信できる優れた技術開発と実装～	C. 課題解決を進めていると思われる仕組み	D. 仕組み見直しの対応方針
① 命・健康も、災害から守る			
② 仕事を、災害から守り、新たに創る			
③ 居住地域を、災害から守り、新たに創る			
④ 命・健康、エネルギーの確保も、災害後も確保し、創る			

ヒアリング時の訪問先への持参資料

早期の復興・再生に向けて、科学技術でできることは？
 << 解決すべき課題⇒(行政の)政策⇒(実現の)手段・方法⇒科学技術と仕組み(含む「見直し」) >>

※ 数少なくても良いので、具体的な事例を教えてください。 ※ (匿名配慮します)

政策課題	解決すべき課題 (例)	1. 科学技術に関連するベストプラクティス候補事例
1. 命・健康を災害から守る	医師や医療機関の不足・偏在	① あって助かったこと。 ・ご縁のあった〇〇が、〇〇を通じて、依頼できるアドバイザーを紹介してくれ、ママの目的が立った。 ② あって良かったこと。 ・〇〇システムを導入していたため、〇〇に早期に取組開始できた。 ③ やって良かったこと。 ・〇〇を公事したら、予想外の斬新な技術提案を出してもらえた。 ④ 更に、欲しいこと、やりたいこと。 ・良い〇〇の技術を見つけた。急ぎ形成のため、試験運用してみたい。
2. 仕事を、災害から守り、新たに作る	雇用創出・拡大とミスマッチ解消	2. 科学技術の利用上等の仕組みで苦慮した(行き詰まった)事例 ① こんなことが(でき)なくて困ったこと。 -技術の採用決定にあたって、事業者と市町村で意見が割れ、決められずにいる。 ② こんなものが欲しかった。 -〇〇の技術提案を買ったが、取捨選択する技術者・助言者が居らず、採用を躊躇した。 ③ どうにか改善して欲しいこと。 -独立電源として太陽光パネルを採用しようとしたが賛否か？
3. 居住地域を災害から守り、新たに作る	街づくりが実行段階に移り切れない	3. A/P重点的取組の施策具体イメージ(事例) (希望産業無し) 取組⑧ 災害時の行政機関・事業所の事業継続の強靱性の確保 取組⑭ 新しいコミュニティを促すコア技術の開発と実装 取組⑰ 電力・ガス・上下水道の迅速な機能回復
4. 命・健康・エネルギー等の確保も災害時も確保し、新たに創る		
五. 放射線物質による影響	まちや職場の除染作業が進まない	
4. その他(イメージ例)		① 雇用創出・拡大が進まない。 既存技術でも良いので現場が選択・採用をしやすくなる工夫がないか？ ② 医師や医療機関が不足、ICTを使った遠隔医療が実現できれば良いが、何処に確保すれば良いかわからない。 ③ 行政機関でやって欲しい技術開発関係の取組組みを、何処に、どのように持ちかければ良いかわからない。

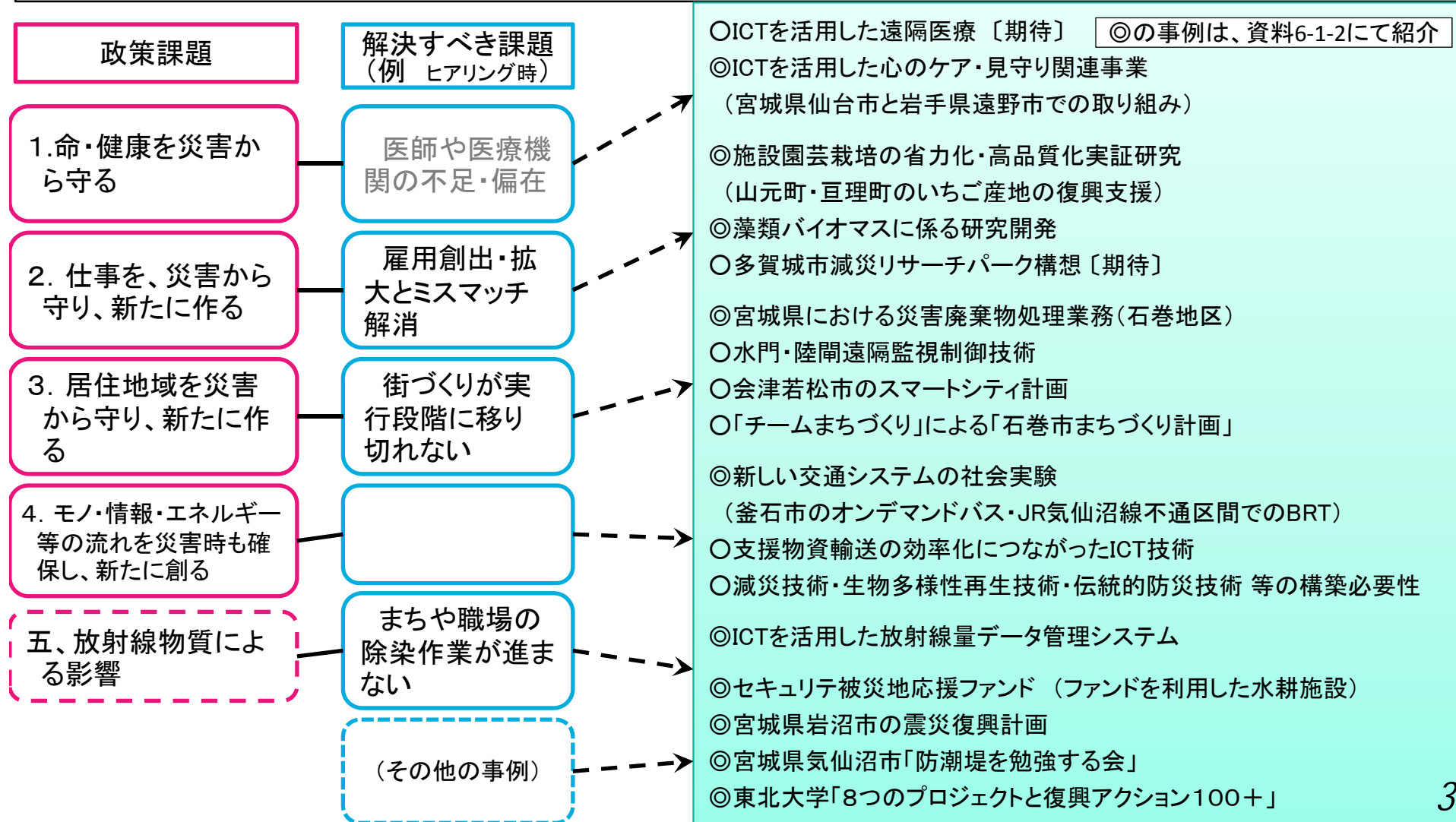
2. 「被災地の早期復興」や「全国や世界へ発信できる優れた技術開発と実装」の「課題解決を阻害している要因」(要約)

(第4回、第5回協議会で頂いた意見をまとめた資料6-1-3の項目のみ再掲。)



3. ヒアリング先で伺った話題一覧 ～早期の復興・再生に向けて、科学技術でできたこと等～ << 解決すべき課題⇒(行政の)政策⇒(実現の)手段・方法⇒科学技術と仕組み(含む「見直し」) >>

H25年度アクションプランで特定した施策の研究成果が実装可能となるのは、早くとも平成26年春以降。
 「まず、取り組むべきは被災地の早期の復興・再生。」との認識に立ち、アクションプランの施策との関連にこだわることなく、復興・再生につながる科学技術関係の仕組みの見直しを検討することとした。
 有効な「仕組みの見直し」を検討するため、「科学技術に関連するベストプラクティス」「科学技術の利用上の仕組み等で苦慮した(行き詰まった)」等の事例把握を行った。



4. 各県の復興計画の進捗検証などから見た復旧・復興の課題

○岩手県における課題 県民アンケート結果

重要度が 高い項目	進捗の実感が 低い項目	ニーズが 高い項目
1 医療機関等の機能回復 2 雇用の場の確保 3 離職者の再就職	1 防潮堤等の整備 2 雇用の場の確保 3 鉄道網の復旧	1 雇用の場の確保 2 住宅や宅地の供給 3 離職者の再就職

「いわて復興レポート」(平成24年8月)をもとに作成

主な課題

「安全」の確保	「暮らし」の再建	「なりわい」の再生
・災害廃棄物の処理	・住宅の再建	・水産業の再生
・防災のまちづくり	・保健・医療・福祉提供体制の再構築	・商工業の再生
・交通ネットワーク整備	・教育環境の整備充実	

「岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画」(平成24年8月改訂)をもとに作成

○宮城県における課題

資料※からみた課題

- ・保険・医療・福祉の提供体制の回復・充実
- ・食料供給基地としての農林水産業の再生
- ・商業や観光の再生と雇用の創出
- ・良好な生活環境の確保
- ・災害廃棄物の処理・処分
- ・公共土木施設(防潮堤、港湾、道路・橋梁等)の復旧
- ・教育環境(学校施設等)の復旧
- ・鉄道インフラの復旧

※「復興の進捗状況について(宮城県)」(平成24年10月30日)をもとに作成

聞き取りによる課題

- ・被災直後の支援物資搬送のロジスティックの不安定さ
- ・被災時における通信環境の確保
- ・医師不足の解消
- ・防潮堤・防波堤建設における景観等への配慮と合意形成
- ・コミュニティの確保と形成
- ・現場への技術のマッチングと実装
- ・復興支援等に関するノウハウの体系的整理

聞き取りをもとに作成

○福島県における課題

放射性物質に関する課題(1. 環境回復プロジェクト)

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・除染の推進 —モニタリングの充実・強化 —効果的・効率的な技術の普及 —農林地の除染 —仮置場の確保と維持管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・汚染廃棄物の処理 —旧警戒区域・避難指示区域内の廃棄物処理の遅れ —下水汚泥の保管場所の不足 —農業系汚染廃棄物の増大 |
|--|---|

雇用に関する課題 (2. 生活再建支援プロジェクト、6. 中小企業等復興プロジェクト)

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の維持・確保 —職のミスマッチ | <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の復興 ・企業誘致の促進 |
|---|--|

医療に関する課題(3. 県民の心身の健康を守るプロジェクト)

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・県民の健康の保持・増進 —被ばく線量調査の遅れ | <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の再構築 ・最先端医療の整備 |
|---|--|

農林水産業再生に関する課題(5. 農林水産業再生プロジェクト)

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心を提供する取組 —農林水産物のモニタリング | <ul style="list-style-type: none"> ・農業の再生 —風評被害、畜産の検査体制 |
|--|---|

「福島県復興計画評価・検討委員会 第2回資料3-3」をもとに作成